



## 令和7年分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年分について、輸出は「鉄鋼」などが減少したものの、「自動車」、「金属鉱及びくず」などが増加したことから対前年比1.3%の増加となった。また、輸入は「鉄鋼」などが減少したものの、「自動車」、「木材及びコルク」などが増加したことから、同18.5%の増加となった。

その結果、差引額は2兆7,516億円（同3.9%の減少）となった。

三河港における輸出額は、令和5年以降3年連続で過去最高を更新  
三河港における輸出入額は、過去最高を更新

注) 1979年以降のデータを基礎として比較

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
三河港	3兆7,914億円	+1.3%	1兆0,398億円	+18.5%	2兆7,516億円	▲3.9%
5年連続の増加		2年ぶりの増加				

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	3兆6,698億円	+2.0%	輸入	増加品目	(1) 自動車	9,124億円	+21.1%
		(2) 金属鉱及びくず	132億円	+5.2%			(2) 木材及びコルク	148億円	+108.6%
		(3) プラスチック	58億円	+5.4%			(3) 航空機類	76億円	+64.0%
	減少品目	(1) 鉄鋼	229億円	▲29.3%		減少品目	(1) 鉄鋼	416億円	▲20.8%
		(2) 船舶類	145億円	▲33.7%			(2) 建設用・鉱山用機械	11億円	▲58.6%
		(3) 石油製品	99億円	▲22.6%			(3) 植物性原材料	44億円	▲15.9%
	地域別動向	西欧、中東欧・ロシア等が増加、北米は減少						西欧、アジアが増加、中東欧・ロシア等は減少	

(参考) ドルレートは、149.69円（前年比0.8%、1.28円の円高）であった。

(注) 年間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注) 本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。